



生ごみ処理システム対応  
ディスポーザ  
YD200BP  
YD200BPA

# 施工説明書

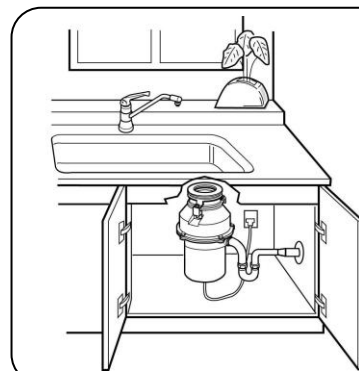
一部の指定地域を除き、ディスポーザ単独での使用はできません。

ディスポーザ排水処理槽との併用でのみ使用できます。  
本書による施工方法以外の不適切な施工で事故および故障が生じた場合、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## はじめに(施工される方へ)

施工前に配線・配管工事の内容についてお客様と必ず打合せを行ってください。

施工完了後、必ず試運転を行い、不具合がないことを確認してください。



手順 安全に施工いただくために

## 1 安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事前に必ずよく読んでうえで、正しくお使いください。

ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。

誤った施工をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。




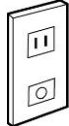




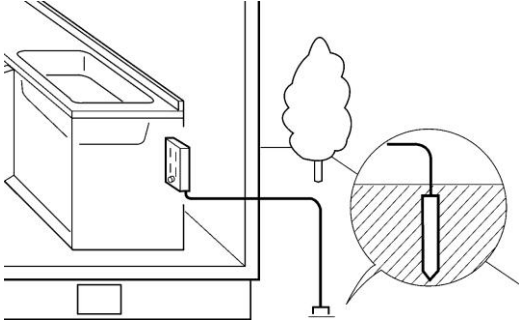

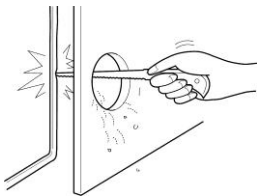

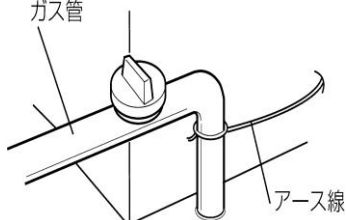



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

# 1 安全上のご注意

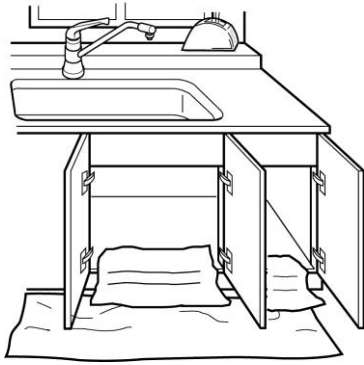
## 警告

	<p>定格15A・交流100Vの専用回路を単独で使用してください。</p> <p>他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。</p>  <p>定格15A・交流100V</p>		<p>電気工事・配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従い、安全、確実に行ってください。</p> <p>誤った電気工事・配線工事は感電や火災の原因になります。</p>
	<p>設備・配管工事は、現場の設置図および施工説明書に従い、必ず付属の部品を使って確実に行ってください。</p> <p>強度不足や取付けが不完全な場合は、本体の落下などによるケガの原因や、火災・感電・水漏れなどの原因になります。</p>		<p>設置工事は、設置専門業者または指定業者が行ってください。</p> <p>誤った設置工事や移設工事は、火災・感電・水漏れの原因になります。</p>
	<p>アース線は必ず接地してください。</p> <p>※D種接地(対地間 100Ω以下)を行い、工事後、接地抵抗計にて確認してください。</p> <p>アース線を接続しないと、万一の故障や漏電のとき感電の原因になります。 (アース線の取付けは、法律で義務付けられています。) アース工事は、電気設備技術基準に基づいて電気工事士の方が行ってください。</p>		
	<p>設置・配線工事の際の壁への穴あけ、電源ケーブルの固定は、屋内配線・屋内配管を傷つけないようにしてください。</p>  <p>漏電・感電・火災の原因になります。</p>		<p>アース線はガス管、水道管、避雷針、電話線には絶対に接続しないでください。</p>  <p>爆発・感電の原因になります。</p>
	<p>設置終了後は、設置・配線工事が確実にできているか確認してください。</p> <p>設置が不完全な場合は、本体の落下などによるケガや、火災・感電・水漏れなどの原因になります。</p>		<p>電源ケーブル類をステーブルなどで固定しないでください。固定は市販のケーブル固定具をお使いください。</p>  <p>電源ケーブル類が破損して、ショートし感電・火災の原因になります。</p>



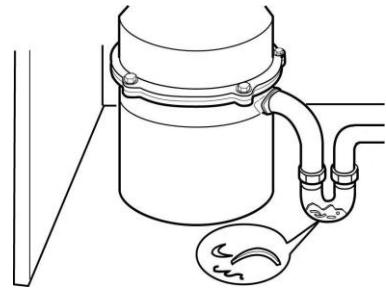
# 注意

施工の際は、床に毛布などを敷いてください。



毛布などを敷いていないと床に傷が入り、補償問題になることがあります。

施工の際に、排出管内に布きれ、配管くずなどを残さないでください。



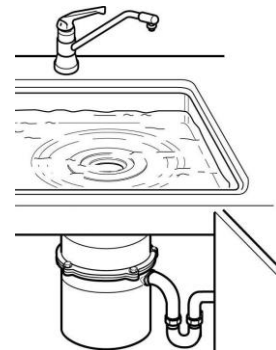
排出管内に布きれ、配管くずなどがあると、配管内がつまり、水漏れの原因になります。

シンクに、60°C以上の高温水を続けて流さないでください。



配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。

シンクに水を溜めているときは、絶対に運転しないでください。

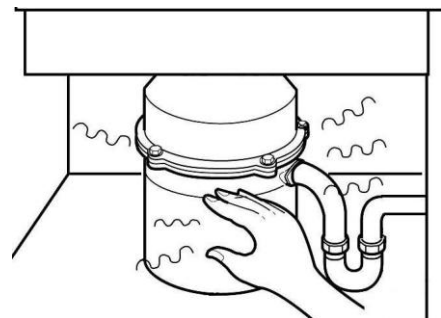


本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちてケガをしたり流し台内部の破損・水漏れの原因になります。

電源コード・ケーブル類は、給湯管などの高熱になるものに近づけないでください。

電源コード・ケーブル類が加熱され破損し、火災・感電の原因になります。

運転した後は、モーターに直接手を触れないでください。



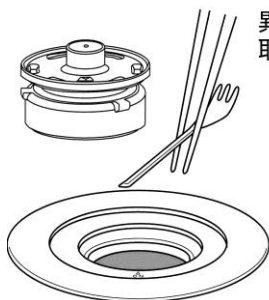
運転直後は高温になっているため、やけどの原因になります。

ディスプレイを運転するときは、必ず水を流してください。

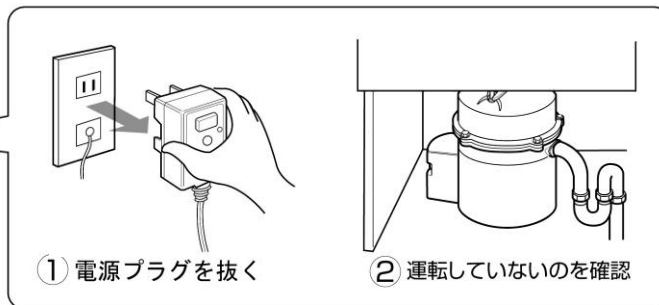
水を流さずに運転すると、スイングハンマとターンテーブルの接触による傷が大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。

## ⚠ 注意

異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認してから行ってください。



異物を取り除く前に



① 電源プラグを抜く

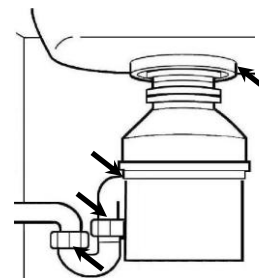
② 運転していないのを確認

粉碎部内のスイングハンマなどで、手こけがをする原因となります。



通水後は、各部の水漏れ確認を必ず行ってください。

水が漏れると、周囲が氷びたしとなり、大きな補償問題になることがあります。



施工後は、金属片やタイル片などをきれいに取り除いてください。また、施工後の金属片やタイル片などはディスプレイで処理しないでください。

破損の原因になります。

手順

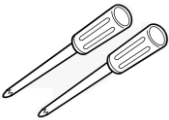
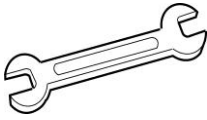

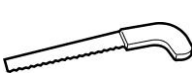

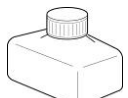



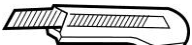
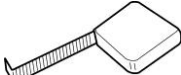
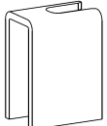
## 2 部材一覧 (そろっているかご確認ください。)

※お客様の仕様により、付属品は別梱包や付属していない場合があります。

本体	付属品	オプション
<p>オーバフロー口付タイプ</p> <p>施工説明書</p>	<p>噛みこみ解除工具</p> <p>アミフタ</p> <p>取扱説明書 シール類</p>	<p>PTラップまたはストラップ</p> <p>PTラップ</p> <p>ストラップ</p> <p>ゴムジョイント</p>

# 3 施工の前の確認

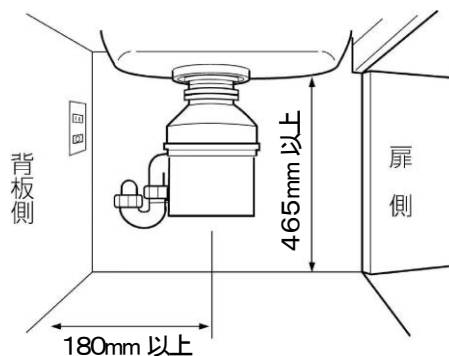
**工具の確認**(施工には次の工具が必要です。)※付属品ではありません。

+、-ドライバー 	スパナ(10mm) 	ウェス、毛布など 	塩ビ用ノコ 	モータレンチ 	塩ビ用接着剤 
ロックナット締付け工具 	六角レンチ(3mm) 	ジャッキ 	カッター 	スケール 	専用治具 

## 設置位置の事前確認

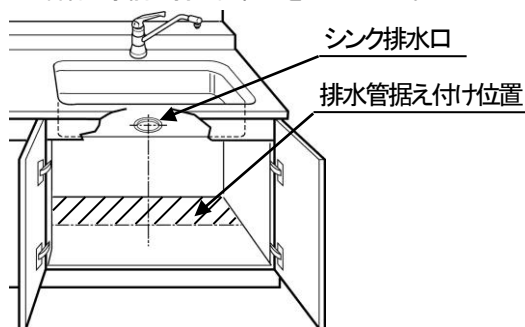
### 取付けスペースの確認

本体(Φ200×h327mm)設置スペースに加え配管スペースが必要となります。  
シンク下部に右図のようなスペースを確保できることを確認してください。



### 排水管の取付け確認

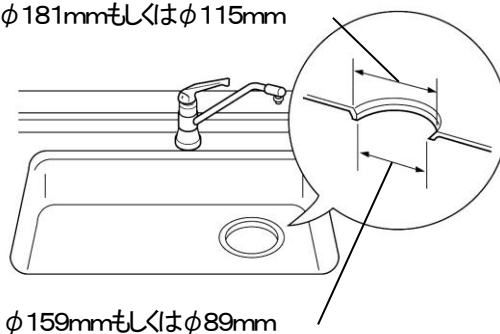
排水管はシンク排水口より奥側の位置(キャビネット内)に取付けてください。(ディスプレイと排水管の位置関係は、手順6参照)  
※取付け位置はお客様と事前に打ち合わせをしてください。



### 取付けるシンク排水口の確認

取付け可能なシンク排水口形状は下図の通りです。

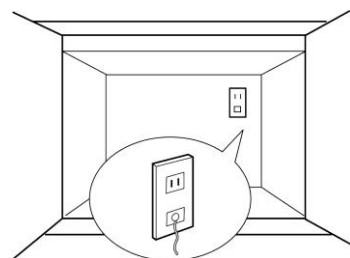
φ181mmもしくはφ115mm



φ159mmもしくはφ89mm

### 電源およびアースの確認

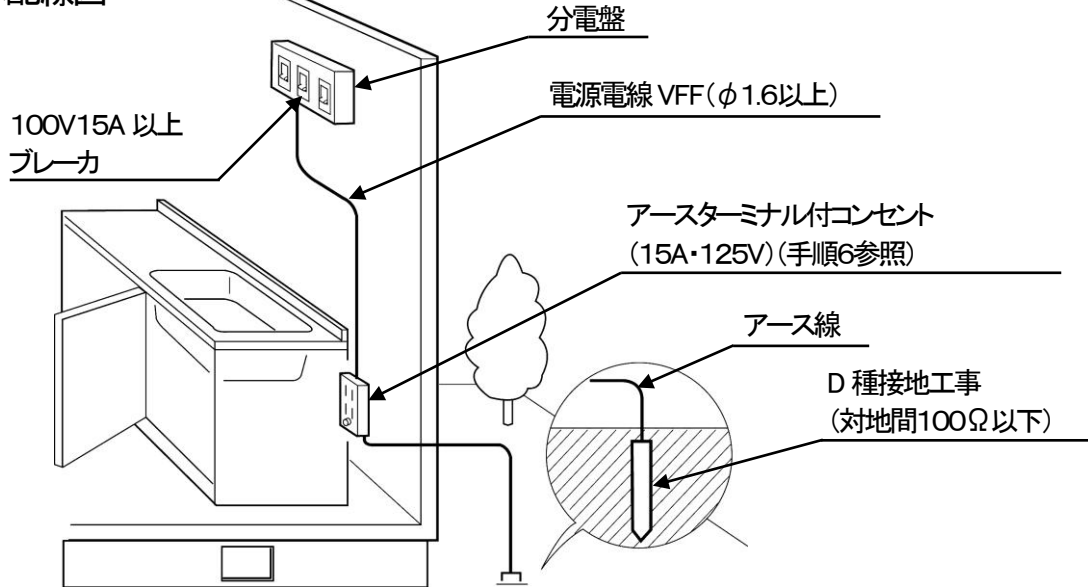
電源はAC100V、15A以上が必要です。  
本品を設置するシンク用ベースキャビネット内に、アース端子付コンセントを設け、これに電源電線・アース線を配線できる計画と準備をしてください。  
(手順6参照)  
※取付け位置はお客様と事前に打ち合わせをしてください。



# 3 施工の前の確認

## 基本配線の事前確認

### ●基本配線図



# 4 排水口の確認

●ディスプレイの排水エルボと流し台の排水管をストラップまたはPトラップを介して接続する計画と準備をしてください。(手順6参照)

※配水管の位置が床の場合はストラップ、側面の場合はPトラップとなります。

# 5 オーバフロー口の<sup>ぐち</sup>接続方法

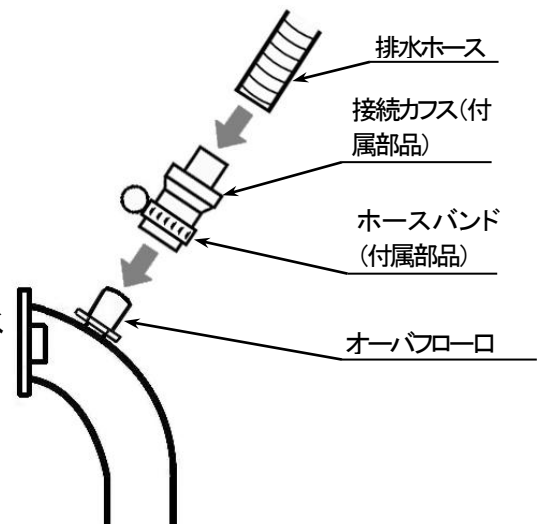
## 接続方法

※オーバフロー口付の場合は、右図の通りです。

- ① 使用時はオーバフロー口内にあるキャップ(栓)を先の尖った物で引っ掛けて抜き取ってください。
- ② 内径25mmの排水ホースと付属部品を使用して右図のように接続してください。

排水ホースは必要に応じてニツ<sup>ぐち</sup>などで切ってください。(排水ホースと接続カフスは塩ビ用接着剤で接着してください。)

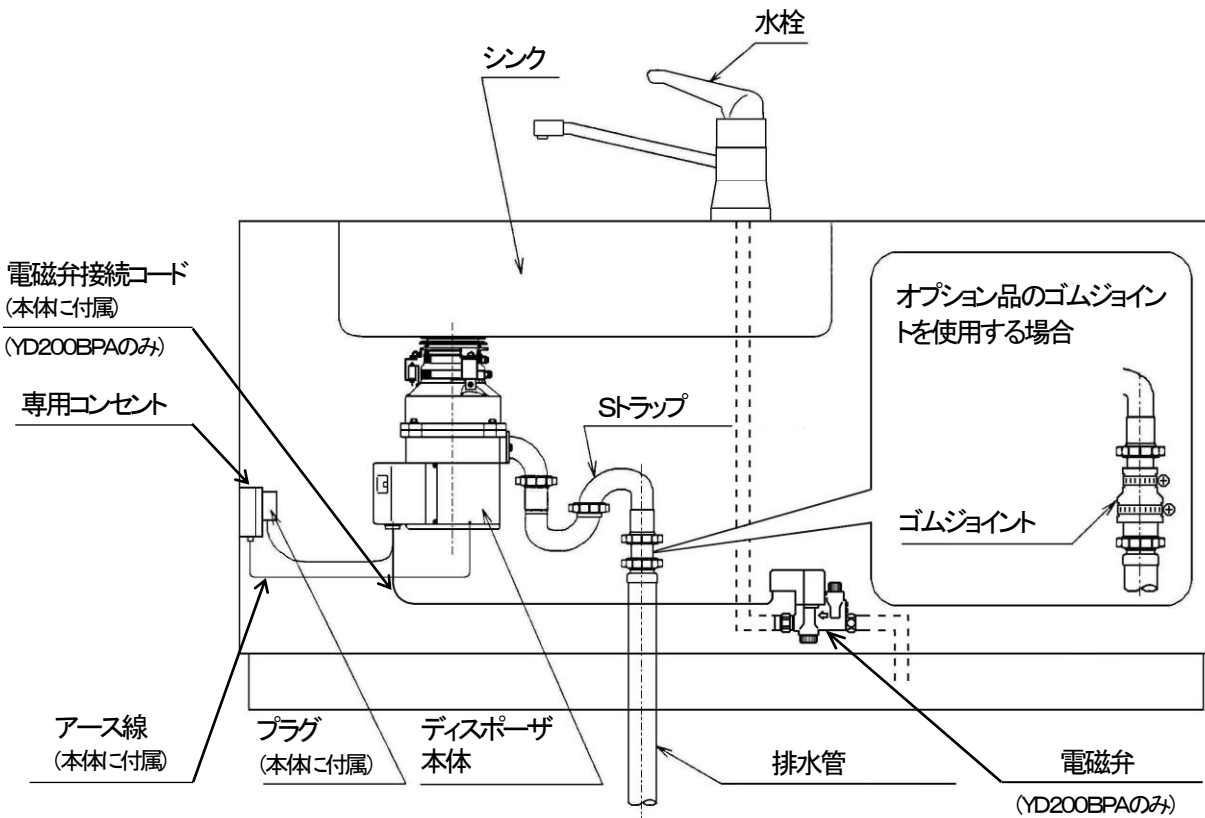
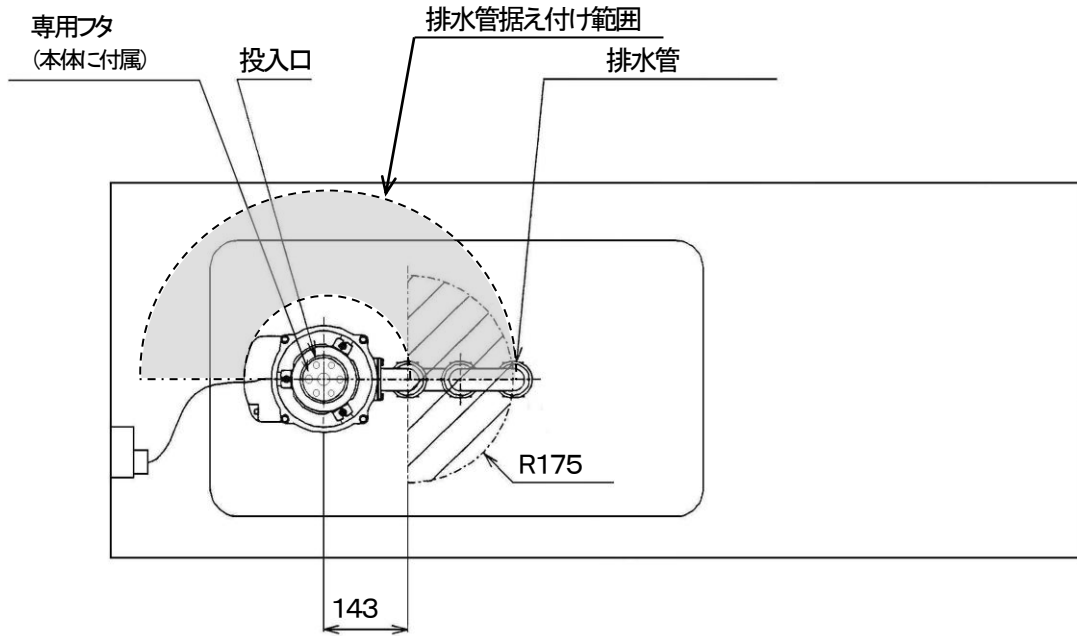
- ③ 接続後、水漏れを確認してください。



# 6 施工概要図

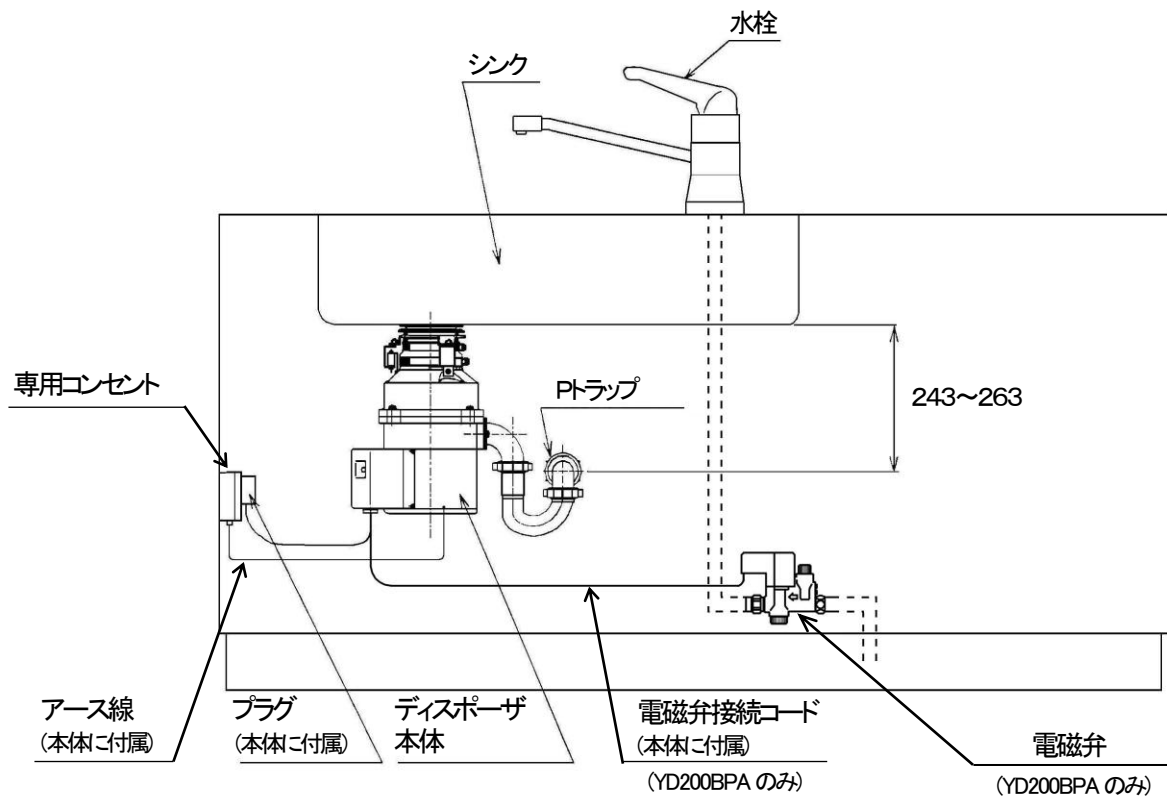
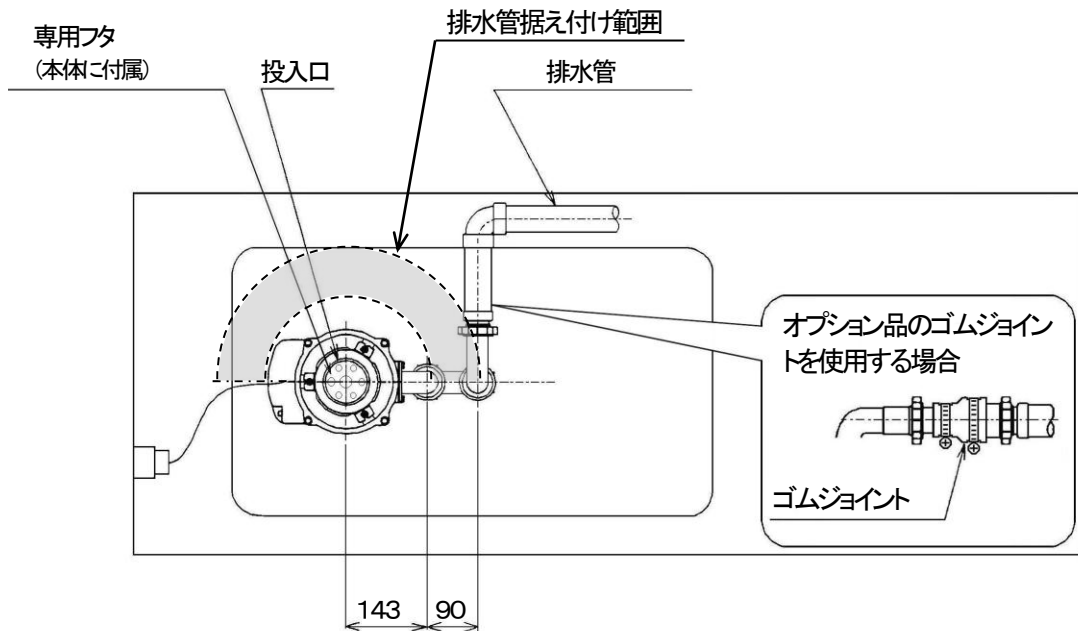
## Sトラップ型(トラップ取付け例)

●配線工事は電気工事士による



# Pトラップ型(トラップ取付け例)

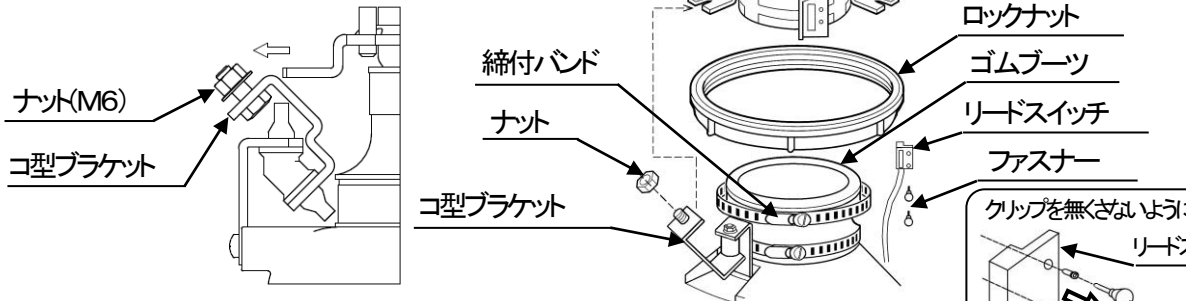
●配線工事は電気工事士による



# 7 本体の取付け・固定

## 1. シンクフランジの取外し

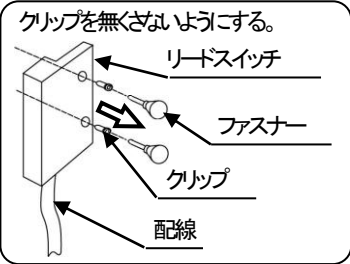
- ① リードスイッチのファスナーを引っ張り、リードスイッチと本体を分離する。(クリップも外す。)
  - ② コ型ブラケットの上側ナット(M6)3ヶ所をゆるめて、コ型ブラケットを外側に広げる。(ゆるめたナットはボルトに残しておきます。)
  - ③ 上側締付バンドをゆるめる。
  - ④ シンクフランジAYをゴムブーツから外す。
  - ⑤ ロックナットをゆるめて外す。
- ※分解した部品はなくさないようにしてください。



### 注意

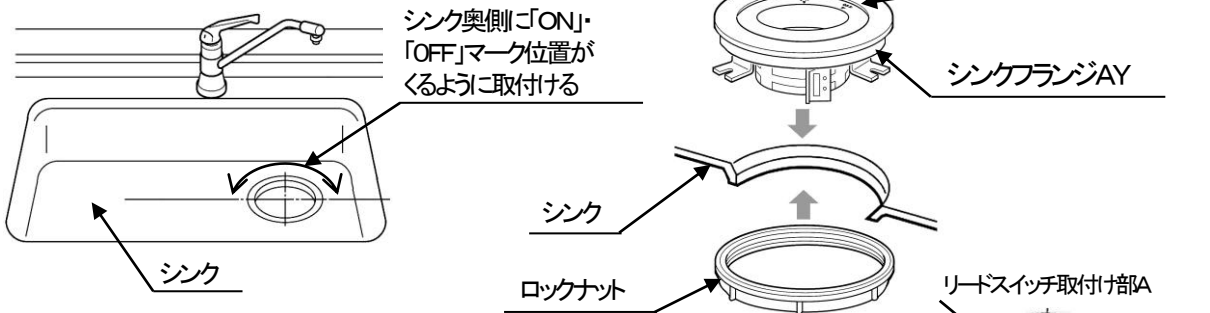


リードスイッチを無理に引っ張ったり、配線を無理に折り曲げないでください。リードスイッチ部に外力が加えられるとスイッチ内部が破損して、機能しなくなります。



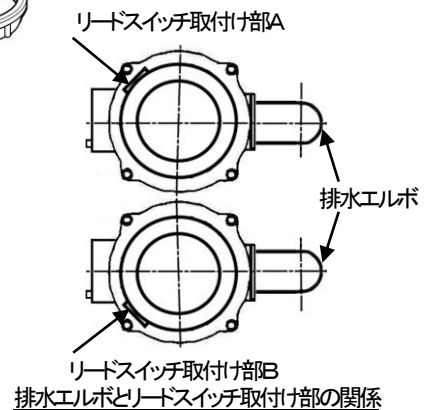
## 2. シンクフランジの取付け

- ① シンク排水口にシンクフランジAYを挿入する。
- ② シンクフランジの「ON」・「OFF」マーク位置がディスプレイ取付け口の中心よりシンク奥側になるように取付けてください。
- ③ ロックナットを仮締めする。(シンク裏側より)



## 3. 本体の取付け

- ① 配水管の方向に排水エルボ(本体)を向けた時、右図のようにリードスイッチ取付け部A・Bどちらかの位置になるように本体の向きを合せてください。
  - ② シンク排水口の真下に本体がくるように置き、本体をジャッキで押し上げ、シンクフランジAYにはめ込む。
- ※ゴムブーツの内側に水をつけるとはめ込みやすくなります。



# ⚠️ 注意



リードスイッチ取付け部にゴムブーツが当たらないように取付けてください。

・ゴムブーツが金属部に当たるとブーツ(ゴム)の損傷・水漏れの原因となります。

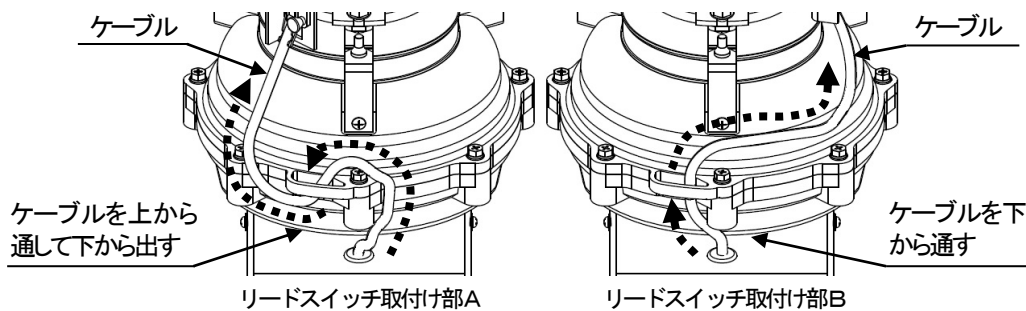


禁止

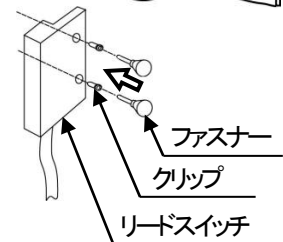
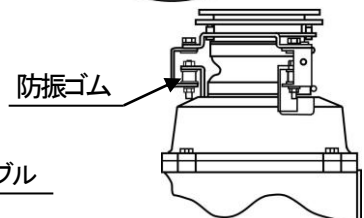
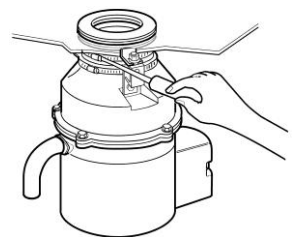
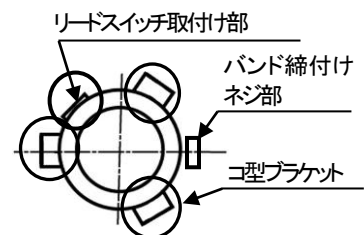
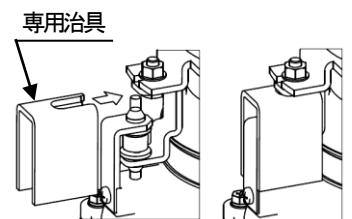
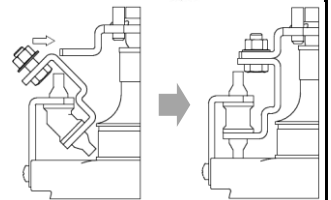
本体取付けの際にゴムブーツの内側に油や石鹼水をつけしないでください。

・油や石鹼水を使用すると、運転中に本体が落下し、けがや流し台内部の破損・水漏れの原因となります。

- ③3個のコ型ブラケット(上側の外した部分)を奥まで挿入する。
- ④コ型ブラケットの上側の六角ナット(M6)を固くなるまで締めてください。  
(コ型ブラケットが供廻りしないよう、専用治具を挿入してナットを締めてください。作業後の専用治具の取り忘れに注意してください。)  
※防振ゴムが斜めになっている場合は、再度本体の向きを調整してください。  
防振ゴムが変形したまま固定されると振動・騒音の原因になったり、損傷・劣化の原因になります。
- ⑤締付バンドのネジ部がリードスイッチ取付け部とコ型ブラケットに接触しないように締付バンドを回転させて位置を調整し、固くなるまで締付けてください。
- ⑥配水管の向きに合わせて本体の方向を調整してください。  
(ロックナットをゆるめると方向の調整がしやすくなります。)  
※シンクフランジAYの「ON」「OFF」マークがシンク奥側にあることを確認してください。
- ⑦シンクフランジAYのロックナットをロックナット締付け工具にて本締めしてください。
- ⑧ジャッキを外してください。  
ジャッキを外した時に、防振ゴムが斜めになっていないことを確認してください。(防振ゴムが斜めになっている場合は再度コ型ブラケットの位置を調整してください。)
- ⑨リードスイッチ取付け部はA・Bの位置により、ケーブルの通し方が異なりますので下図のように調整してください。  
(出荷時のリードスイッチ取付け位置はAとなります)



- ⑩リードスイッチをプレートの取付け板に組み合わせた状態でクリップ(2個)をはめ込んでください。  
(クリップがプレートの取付け板に確実に挿入されていることを確認してください。)
- ⑪ファスナー(2個)をクリップにはめ込んでください。



## ⚠️ 注意

締付バンドのネジ部が、リードスイッチ取付け部とコ型ブラケットに干渉していないことを確認してください。

・リードスイッチの破損や騒音・振動の原因となります。

締付バンドおよびロックナットは十分に締付けてください。

・水漏れの原因となります。

コ型ブラケットの上側(M6)ナットは専用治具を使用して、確実に締付けてください。

・本体が落下し、けがや流し台内部の破損・水漏れの原因となります。

## 4.トラップの取付け

①ストラップまたはPトラップを本体が傾かないようにトラップを調整しながら排水エルボと配水管に合うように仮接続します。

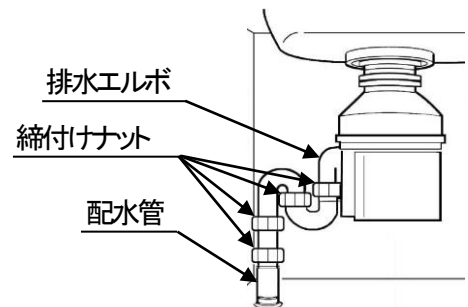
②仮接続終了後、トラップの締付けナットを確実に締付けてください。

(オプション品等使用により、トラップと配水管の接続方法が異なる場合がありますので、手順6施工概要図を参考に接続してください。)

## ⚠️ 注意

接続部は確実に締付けてください。

水漏れの原因となります。



③本体が斜めに傾いていないことを確認してください。

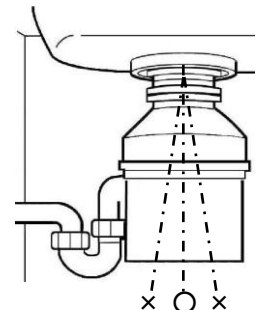
※本体がトラップで押されたり、引っ張られたりすると本体が斜めに傾いた状態になります。

その場合は、本体の傾きがなくなるように再度トラップの調整をしてください。

## ⚠️ 注意

本体が斜めに傾いていないことを確認してください。

本体が斜めに傾いて取付けされていると振動・騒音の原因になったり、トラップ・排水管の損傷・劣化の原因となります。



## 5.電磁弁への接続方法 (YD200BPA)

①端子接続コネクタを図のように、電磁弁側端子へしっかりと差し込んで接続します。

②電磁弁と端子接続コネクタのバンド通し穴から結束バンドを通し、縛って固定してください。

③端子接続コネクタが電磁弁から外れないことを確認してください。

## 警告



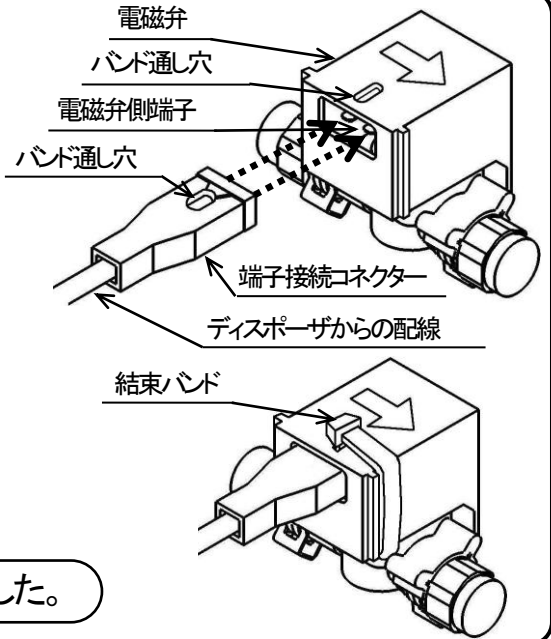
端子接続コネクタと電磁弁側端子を接続するときは、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。  
感電や本体破損の原因になります。

## 注意



端子接続コネクタがしっかりと差し込んでいるか確認してください。  
端子の破損の原因になります。

これで取付けが完了しました。



手順

# 8 本体の取付け・固定 (口径φ115mmの場合)

## 1. シンクフランジの取外し

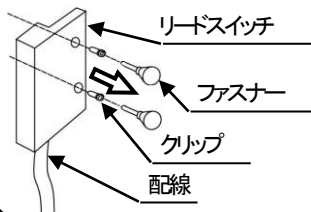
- ① リードスイッチのファスナーを引っ張り、リードスイッチと本体を分離する。  
(クリップも外す。)
  - ② コ型ブラケットの上側ナット(M6)3ヶ所をゆるめて、コ型ブラケットを外側に広げる。(ゆるめたナットはボルトに残しておきます。)
  - ③ 上側締付バンドをゆるめる。
  - ④ シンクフランジAYをゴムブーツから外す。
  - ⑤ セットビス3本をゆるめてシンクフランジの凹部にプレートの凸部を沿わせて回転させながらプレートを外す。
  - ⑥ 押さえリングを外す。
  - ⑦ アダプタを外す。(外したアダプタは使用しません。)
  - ⑧ パッキンを外す。
- ※分解した部品はなくさないようにしてください。

## 注意

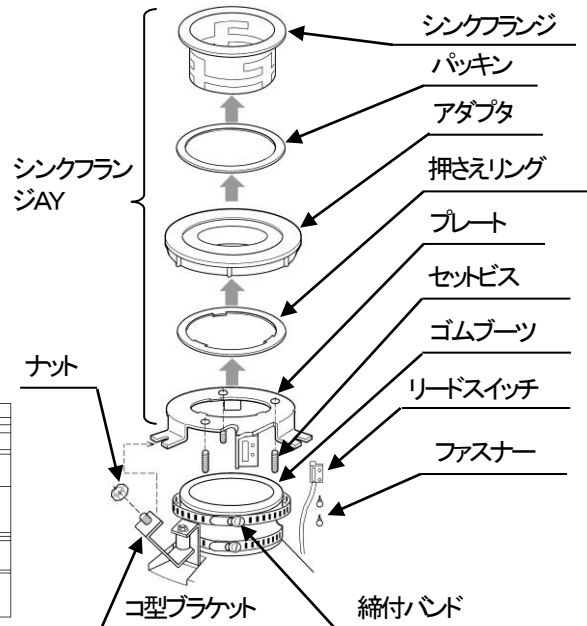
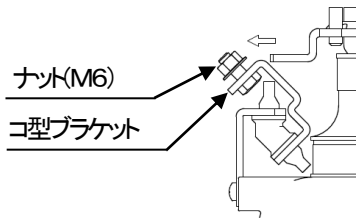


リードスイッチを無理に引っ張ったり、配線を無理に折り曲げないでください。  
リードスイッチ部に外力が加えられるとスイッチ内部が破損して、機能しなくなる場合があります。

クリップを無くさないようにする。

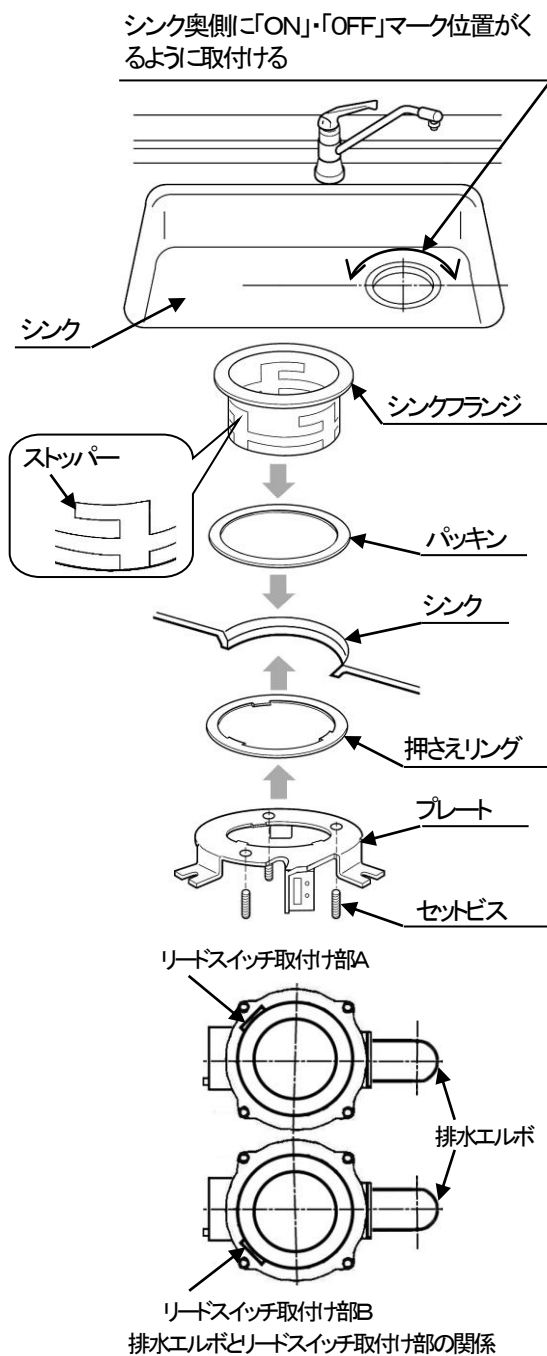


ナット(M6)  
コ型ブラケット



## 2.シンクフランジの取付け

- ①本体をシンク排水口の下方に置き、排水エルボと配水管の向きを合わせてください。
  - ②シンク排水口にパッキンをのせる。
  - ③「ON」・「OFF」マーク位置がディスプレイ取付け口の中心よりシンク奥側になるようにシンクフランジを挿入してください。
  - ④押さえリングを挿入する。(シンク裏側より)
  - ⑤シンクフランジの凹部に、プレートの凸部を合わせて挿入する。(1ヶ所凸部の幅が大きくなっています。フランジ凹部の合う位置に挿入してください。)
  - ⑥挿入後ストッパーの位置まで回転させる。
  - ⑦右下図のように排水エルボ(本体)に対して、リードスイッチ取付け部A・Bどちらかの位置になるようにシンクフランジを回転させて向きを調整してください。  
(排水エルボを排水管寄りの方向に合わせてください。)
- ※シンクフランジAYの「ON」「OFF」マークがシンク奥側にあることを確認してください。
- ⑧セットビス(3ヶ所)を締付ける。



### 注意



プレートはストッパー位置まで確実に回転させ固定してください。

スイッチが正常に作動しない場合があります。

## 3.本体の取付け

- ①手順7の「本体の取付け」に添って取付けてください。

## 4.電磁弁への接続方法 (YD200BPA)

- ①手順7の「電磁弁への接続方法」に添って取付けてください。

口径φ115mmの場合の取付けが完了しました。

# 9 試運転

1

## 工事を確認する

- 電源工事、接地工事が完了しているか。
- 本体がシンクに正しく取付けられているか。(容易に回転しないよう、締付けられているか。)
- 排水管が正しく取付けられ、各部に緩みがないか。
- ディスプレイ側の端子接続コネクタと電磁弁側の端子が接続してあるか。  
(YD200BPAの場合)

2

## 粉碎室内を確認する(生ごみを貯めるところ)

- 異物(ネジ・配線くず・木くず等)が混入していないことを確認してください。
- ※異物が混入している場合は、手袋を着用して異物を取り除いてください。  
(異物を取り除く作業のときは電源が切れていることを確認してください。)



**注意**

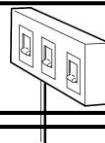
施工時に出たゴミ(ネジ・配線くず・木くず等)が粉碎室内に入っていると、運転時に異音や嘔みこみ停止等の原因になります。

3

## 分電盤のブレーカを「ON」にする



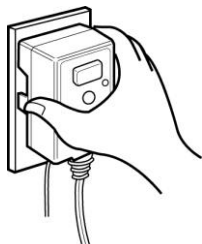
- フタが外れていることを確認してからブレーカをONにしてください。



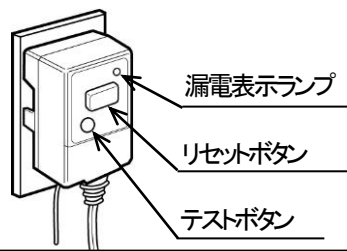
4

## 電源プラグを差し込む

- プラグを確実に奥まで差し込む。



差し込み後、運転保護スイッチの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。  
(テストボタンを押して動作を確認してください。)

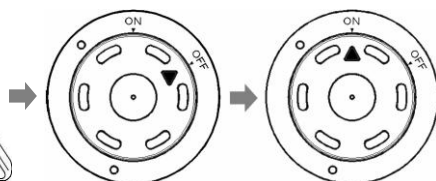


5

## 運転確認

### YD200BPの場合

- ① 水栓を開き、給水を行ってください。
- ② 投入口のOFF位置にフタスイッチの▲マークを合わせて挿入し、▲マークをON位置に合わせてください。(ディスプレイが作動します。)
- ③ 作動後、約1分でディスプレイが自動停止します。



**注意**

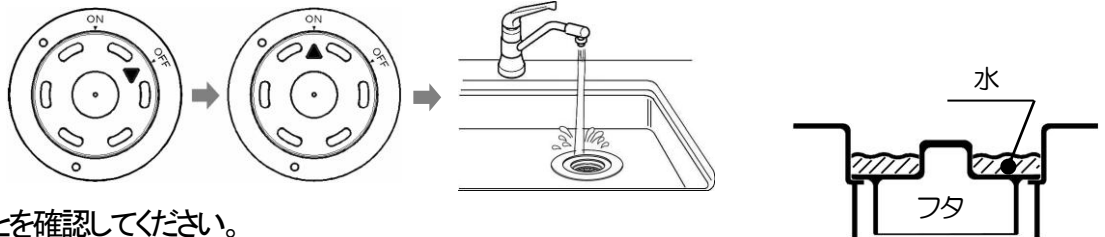
ディスプレイを運転するときは、必ず水を流してください。



水を流さずに運転すると、スイングハンマとターンテーブルの接触による傷が大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。

**YD200BPAの場合**

- ① 投入口のOFF位置にフタスイッチの▲マークを合わせて挿入し、▲マークをON位置に合わせてください。
- ② 水栓より自動的に水(毎分8リットル)が流れます。
- ③ 水が流れてから約5秒後にディスポーザが自動的に作動します。
- ④ 作動後、約1分でディスポーザが自動停止します。
- ⑤ ディスポーザ停止後、約5秒後に水が自動的に止まります。



●次のことを確認してください。

- ① 毎分8リットルの水が流れているか。  
(水量の目安は右図のようにフタスイッチの表面に水が溜まるぐらいです。)

※浄水器付水栓の場合、「浄水」で使用すると水量が少なくなる恐れがありますので、「原水」で使用してください。

- ② ディスポーザが正常に運転し、運転中に異常音、異常振動がでないか。
- ③ ディスポーザ始動後、約1分で自動停止するか。
- ④ ディスポーザ停止してから約5秒後に水が自動的に止まるか。(YD200BPA)

※フタスイッチをON位置に合わせても水が自動で出ない場合は、ディスポーザ側の端子接続コネクタと電磁弁側端子が接続されているか確認してください。(YD200BPA)  
(手順7「電磁弁への接続方法」参照)

※口径φ115mmで取付けたディスポーザが起動しない場合は、プレートが正しく取付けられているか確認してください。(手順8「シンクフランジの取付け」参照)

※水の量が適量でない場合等の電磁弁に関するお問い合わせは、電磁弁販売店にご相談ください。

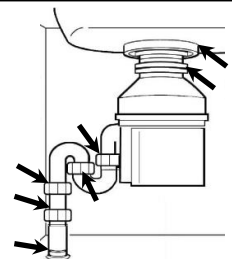
※運転音や振動が大きい場合、次のことを確認してください。

- コ型ブラケットの上側(M6)ナットが確実に締付けられているか、防振ゴムが斜めに取付いていないか、専用治具を取り忘れていないかを確認してください。
- 排水管に無理な力がかかったり、排水管と流し台の床板・壁板等が干渉していないか確認してください。

**フタスイッチの▲マークをOFF位置に合わせてください****接続部からの漏水確認**

●接続部分が水で漏れていないことを確認してください。

- ① ロックナットのゆるみ・ガタがないか。
- ② パッキンにねじれ等がないか。
- ③ ゴムブーツがシンクフランジAY1にしっかりとハマっているか。
- ④ ゴムブーツが締付バンドでしっかりと締付けられているか。
- ⑤ トラップ・排水管等のゆるみがないか。



8

## フタスイッチの動作確認

※フタスイッチの▲マークを○位置に合わせて挿入し、左右に回転させた時に、起動しないことを確認してください。(○位置2ヶ所共)

口径φ115mmで取付けたディスプレイが起動する場合は、プレートがシンクフランジのストッパーの位置までハマっているか確認してください。(手順8「シンクフランジの取付け」参照)

9

## 破損・傷の確認

●フタスイッチ・シンクフランジ・本体・トラップ等に破損・傷がないことを確認してください。

工事日	年	月	日
工事店			
住所	〒		
	担当者		
TEL			
メモ			



## 安永エアポンプ株式会社

本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢三丁目4-1  
 TEL 03-3621-3317 FAX 03-3625-8108  
 名張事業所 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村920  
 TEL 0595-64-0411 FAX 0595-64-4165  
 受付時間 9:00 ~ 17:00(土曜・日曜・祝日は除く)